

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 呼吸器内科 岡藤 浩平

【研究責任者】

聖路加国際病院 呼吸器内科 岡藤 浩平

気管支鏡検査を受けた方を対象とした

超音波所見に関する研究

1.研究の対象

2011年4月～2019年12月に当院で気管支鏡検査を受けられた方

2.研究の目的・方法

肺に影が見つかったとき、それを診断するために気管支鏡検査を行います。その際、内視鏡の先端から超音波の装置をのばして影を同定しますが、超音波で影を同定できても診断できないことがあります。今回超音波で同定できたにも関わらず気管支鏡で診断できなかった症例について調査することで、原因を明らかにして診断率を向上させることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年8月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

カルテ番号、年齢、性別、検査施行日、気管支鏡検査結果、検査内容、診断名、検査に伴う合併症の有無 等